

# 2019年度 国際ロータリー第2780地区 IAC 台湾研修 生徒会 参加活動報告書

活動日：2019年12月26日(木)～29日(日)

活動場所：台湾 台北市

参加者：生徒会1年 松本 葵 橋本 葵 堀 文仁

報告者：生徒会1年 松本 葵 橋本 葵 堀 文仁

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



## ◆ 活動目的

- ①. 国際交流を通して視野を広げ国際理解と親善につなげる
- ②. 自ら計画を立て行動する力を身につける

## ◆ 研修準備について

私たち生徒会が参加しているインターアクトクラブ活動では、年末の台湾に第2780地区(神奈川)に所属する12の学校から派遣されたメンバーで訪問し、地元台湾のインターアクトクラブと交流を行っています。本校からは、1年生3人が参加しました。これを台湾研修といい、毎年台湾で学校訪問をし、一緒にクリスマスパーティーを楽しみます。そこで、私たち、台湾研修のメンバーは10月頃から集まり、パーティーで披露するためのダンスや歌の練習を毎週土曜日集まり行ってきました。最初の集まりで発表内容、リーダー・副リーダーを決定し、その人たちを中心に練習を進めました。ところが、この練習への参加率が悪く、多くの方に心配や迷惑をかけました。しかし、本番は例年と同様にとっても盛り上がり本番は大成功でした。

## ◆ 感想とまとめ

台湾に到着する前は台湾の人と話すことができるか不安でした。しかし、現地の人とコミュニケーションを繰り返すうちに不安が解け、気軽に話しかけることができるようになりました。私は英語が世界共通語であることを実感したいこともあって参加を決めました。実践躬行(じっせんきゅうこう)という言葉がありますが、まさに行うことで自ら気が付くことがあるのだと思いました。

記:生徒会1年 堀 文仁

私にとって初めての海外研修でした。仲間も一緒にいましたが、不安は大きかったです。飛行機に乗り、現地に着くころには、不安が好奇心に変わっていました。到着し、現地で過ごしていく中で、台湾の魅力や現地の人たちの優しさに触れて、訪れる前よりもっと台湾が好きになりました。楽しかったことはもちろんのこと、学ぶことが多い研修でした。私は夢への道標(みちしるべ)をたくさん得ることができました。この経験から英語力の向上と、道標を目標に変えて日頃から努力していきます。

記:生徒会1年 橋本 葵

到着する前は、台湾のインターアクターとコミュニケーションが取れるか不安でした。空港に着いてみると、大勢の方が出迎えに来てくれていました。この時点から、交流が始まり、台湾の学生と話しをしていけました。3つの学校を訪問し、交流する中で、台湾の方たちの温かさに触れて、訪れる前よりもっと好きになっていきました。しかし帰りの時間はすぐにやってきました。名残惜しさもあって、とても寂しい気持ちにもなりました。台湾研修を通して、コミュニケーションを取ることの大切さを知りました。その中で、英語は世界共通語で、もっと勉強をした方が良いと実感しました。

記:生徒会1年 松本 葵

